

その水、安全・安心ですか？

私たちが毎日使用している水道水、ほとんどの方が安全な水であると思ひ、疑うことなく安心して口にしていると思ひます。しかし、時々水質の汚染事故が発生していることをご存知ですか。

昨年秋のことです。某大学の附属病院で、乳児10名がメトヘモグロビン血症（亜硝酸塩の多量摂取で起きる低酸素症）を発症しました。発症した乳児の共通点として、院内の水道水（井戸水）で溶いた粉ミルクを飲んでいたことがわかりました。その水道水を検査した結果、高濃度の亜硝酸態窒素が検出されました。

原因を調査したところ、空調用水配管と上水系統配管が逆止弁を介して直接接続されており、その逆止弁の作動不全により空調用水配管から空調用水が逆流していたことが判明しました。空調用水には、配管内の錆を防ぐための防腐剤として亜硝酸塩を含む薬剤が使用されており、逆流により水道水に混入したものと考えられます。

厚生労働省が公表している水道水質関連事象事例によると、毎年十数件程度の事故が発生しています。令和元年以降では、下記に示す事例が多く見られます。

- ①レジャー施設利用者の減少や管理不足による、消毒用次亜塩素酸の劣化及び注入量過多
- ②交通事故や燃料配管の破損による、軽油や灯油の原水（地下水、河川水など）への流入
- ③雑排水配管や公共下水管と上水配管の誤接続

普段、何気なく使用している水道水ですが、「臭い」や「味」などに少しでも異常を感じたときは、水質検査をおすすめします。

当所では、水道水などの飲料水のほか、プール水、浴槽水、排水などの水質検査を行っております。些細なことでも、お気軽にご相談ください。